

地域づくり協議会だより

発行日：令和2年 3月 1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会

一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006

◎ 原稿募集中

広報部会

地域づくり協議会とは、

「地域づくり協議会」は、統合された地域への交付金・委託金の受け皿になるなど、新しい地域自治の仕組みです。今まで別々に活動することが多かった地域の団体などが、連区単位の地域づくり協議会という同じテーブルにつき、地域のことを一緒に考え、実行します。町内会で解決できることは町内会で、できないことを地域づくり協議会でそれでもできないことを行政が行うという相互補完的な関係を目指しています。

(引用：一宮市ホームページより)

提案事業(新規事業)

地域づくり協議会では、従前の事業について地域にあった活動ができるように話し合いをしています。話し合っていく中で、良いアイデアが出て資金の関係でやりきれない事業が出てきます。一時的、集中的に資金を投下することで、地域にとってより良い効果が認められると判断した事業に対し、提案事業交付金として事業費を交付しています。次号で大和町連区の2019年度提案事業(新規事業)の報告をします。

連区の福祉活動に取り組んでいるのが、大和町連区地域づくり協議会なんだ。協議会に19の団体が所属し、ボランティアで活動していると聞いたよ。団体名を調べたよ。各団体は互いに協力しながら事業活動の推進のために頑張っているんだって。



大和町連区地域づくり協議会を構成する19の団体などの名称

- ①大和町連区町会長協議会②一宮市社会福祉協議会大和支会③大和町連区民生児童委員協議会④大和公民館⑤大和町連区児童育成協議会⑥大和町連区老人クラブ連合会⑦大和町連区交通安全会⑧大和町連区防犯委員会⑨大和町連区資源回収推進協議会⑩大和町連区学校外活動推進委員会⑪大和町連区自主防災会⑫一宮市赤十字奉仕団大和分団⑬大和町連区保護司会⑭スポーツ推進委員⑮大和町連区遺族会⑯一宮市消防団大和西・東分団⑰一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会大和支部⑱小中学校⑲小中PTA

大和町連区自主防災会 立ち上げ準備会

1月25日(土), Pm1:30~, 大和公民館

大和町連区自主防災会発足のために、町内自主防災会リーダー・町内会長や役員など多くの方が参加されました。伊藤元博氏(一宮防災ボランティアネットワーク代表)から『災害・防災・減災あれこれ』について話がありました。東日本大震災をはじめ多くのボランティア体験より自主防災会の体制が確率していた地区は、救助に大きな役割を果たしていると言われました。そして、自主防災組織の最終目標を立て、役員や防災委員の防災知識向上・防災組織強化を加味した活動計画を作成する。計画実施後は、評価・改善を図る手順も教えていただきました。最後に、地域の防災の第一歩、「地域の問題・課題を見つける」ために、大和町連区の「防災マップ」を作ってくださいと結びました。立ち上げ準備会の学びを通して、各町内の自主防災会の取り組みが漸次開始され、安全安心な連区を目指して事業の推進を期待しております。



シリーズ② 大和町連区自主防災会

車での避難は大丈夫か？

大和町連区自主防災会 代表 太田 一弘

自然災害と言うより猛烈な雨による河川の越水氾濫や破堤による大洪水や冠水には早目の避難が大事です。しかし、浸水した車中で亡くなられた方もあり、車の避難は危険が伴います。昨年の台風・豪雨による河川氾濫で車が水没して脱出できず、中には電話しながら命を落とされた方もみえます。東日本大震災でも渋滞した車の中で亡くなられた方も見聞きしておられると思います。50~60cmの水が車に浸入すれば、ドアは水圧で開かず脱出には窓を割る以外方法がありません(搭載ハンマー利用か)。異常浸水すれば、車は停止し、道路のゴミとなって放置するしかないのです。是非一度、ご家庭でもよく検討してください。二階への垂直避難も十分ご検討ください。



で行くぶらり散歩⑬ (最終回)

☆多 散策場所 宮地・花池 『左義長』
📍 名鉄尾西線 観音寺駅下車 東700m 徒歩10分



一宮市大和町宮地にある「菱菱鳴社(すさのおしゃ)」、花池にある「大神神社(おおみわじんじゃ)」で毎年『左義長(さぎちょう)』が行われる。左義長とは、小正月に行われる火祭りの行事。長い竹を3、4本組んで立て、そこにその年飾った門松や注連飾り、書き初めで書いた物を持ち寄って焼く。その火で焼いた餅は病魔除けとして食べる。注連飾りなどの灰を持ち帰り、自宅の周囲にまくとその年の病を除くとか、書き初めを焼いた時に炎が高く上がると字が上達するとか言われている。燃え残りの青竹は火難・雷除けのお守りであると伝えられている。門松や注連飾りによって出迎えた歳神を、焼くことによって炎と共に見送る意味があるとされる。

(参照：ウィキペディア フリー百科事典)



博物館へ行こう

観覧料:市内小・中学生・満65歳以上(無料)
一般200円

開館時間:9:30~17:00

休館日:毎週月曜日、休日の翌日

一宮市大和町妙興寺2390 TEL46-3215

一宮市博物館

一宮市の歴史や文化遺産に関する展示を行う目的で、1987年11月に妙興寺地区に開館しました。市内の遺跡から発掘された古代から中世にかけての出土品をはじめ、大正から昭和時代に使われた大型織機をはじめとした繊維産業の歴史などを展示しています。



シルバー教養講座 社会見学

高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会大和支部監事 内田 清

シルバー教養講座は、高齢者の生きがいと健康づくりを推進する事業で、大和老連の方々を中心に参加されています。9月24日より講座が開催され、11月26日(10回目)に講座のまとめとして社会見学が実施されました。128名が参加、バス3台で飛騨高山と高山温泉に出かけました。車中は、好天と紅葉に気分も高揚し笑顔が溢れていました。



高山市内は宮川の朝市・古い町並み・高山陣屋などを散策しました。散策中外国人観光客の多さが印象に残りました。高山温泉では、山海の幸に堪能し、食後は温泉で日頃の疲れを癒しました。帰りの車中では、おみやげでいっぱい、カラオケに旅の話にお互いに心も和み、とっておきの楽しい一日になりました。



あやとり



だるま落とし



お手玉

小学1年生と高齢の方のふれあい授業

12月17日(火)、末広小学校で、高齢の方や保護者の皆さんを先生とする「昔の遊び」の授業が行われました。毎年、高齢の方が親しんだ遊びの体験を通して、生活の見方・考え方を生かした豊かな生活にする資質や能力を育てるため教育活動が展開されています。今回、子ども達は、「おはじき、お手玉、竹馬・・・」と、九つの遊びに挑戦し、時間いっぱい先生たちとふれあい、楽しい学びの場となりました。



けん玉



羽根つき



こまわし

成人学習講座 社会見学

成人学習部長 土本 典生

「より充実した人生を送るために！！」のテーマで、10月17日から5回の講演などの講座を開講、11月21日天候にも恵まれて、受講生59人の参加を得て社会見学を実施しました。

午前9時に公民館を出発し恵那市岩村へ。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されるとともに、朝ドラ「半分、青い」のロケ地にもなった本通りや城下町地区を散策しました。そして、岩村城直下の岩村山荘で城下町弁当の昼食後、恵那峡へ向かいました。木曾川の兩岸に広がる紅葉や、花崗岩の巨岩、奇岩など、日本最初の水力発電所大井ダムの造り出した景観を遊覧船で見学しました。その後帰路につき、予定通り公民館に全員無事に帰着、晩秋の一日を堪能することができたと思います。来年度も多数ご参加くださいますようお願いいたします。



運転手に声をからして呼びかける園児

大和連区交通安全会は、11月を交通安全強化月間と位置づけ、一宮警察署、交通安全会役員、学校関係者、園児&町内のみなさんの協力を得て、交通安全啓発活動に取り組みました。龍明寺幼稚園児(7日)一宮尚正会大和保育園児(14日)末広・昭和地区のみなさん(25日)には「交通安全会のお願いに進んで応えていただいた」と会長さんも喜んでみえました。運転する全ての方が「スマホ・ながら運転禁止」を含めた安全運転励行に心がけ、交通事故のない安全・安心な連区になることを期待しております。



名称：花池子ども会
人数：121名(男の子58,女の子63)
町内会名：花池町内会



児童福祉大会

子供会

② 特集



名称：ひかり子ども会
人数：46名(男の子22,女の子24)
町内会名：花池町内会

【取り組み】

- ・1年生を迎える会・夏休み映画会
- ・秋祭り・連区運動会・公園清掃
- ・防火防災訓練・クリスマス会
- ・6年生を送る会



ラジオ体操



セタボーリング大会



彦田公園のかだんづくり

【取り組み】

- ・新入生を迎える会
- ・ラジオ体操・映画観賞会
- ・防災訓練・クリスマス会
- ・連区運動会・資源回収
- ・ボーリング大会(お別れ会)



スポーツ大会



児童福祉大会

私たち花池子ども会は、会員数100名を超える大きな子ども会です。行事を行う公民館は、人数が多いのでいっぱいになってしまうのですが、みんなが楽しめる様工夫をし、たくさんの行事を行っています。活動の中で、1・2年生を気に掛け、6年生が声をかける姿をよく目にします。異学年交流の良さが感じられます。

お願い:地域&保護者のみなさんも活動と一緒に楽しみませんか。ご協力して頂ける方を募集しています。